

平成 30 年度
6 月補正予算主要事業の概要
(事業別説明資料)



目 次

(総務部)

拡充	専門家による特定空家の立入調査	1
新規	公用車のドライブレコーダー設置	2

(企画部)

拡充	ふるさと納税専門サイトの新規導入	3
新規	首都圏でのレールマウンテンバイク魅力発信	4

(市民福祉部)

拡充	障がい者支援事業所の設置促進	5
新規	民間による「みんなの居場所づくり」の支援	6

(環境水道部)

新規	松ヶ丘公園斎場の改修	7
-----------	------------	---

(商工観光部)

新規	宮川の地域資源を活用した里山体験事業	8
-----------	--------------------	---

拡充 専門家による特定空家の立入調査

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】	【主な使途】
300	一般財源 300	委託料 300

(現計予算 212)

2 事業背景・目的

人口減少に伴い市内には空家が増加しています。中には適切に管理されず、防災、衛生、景観等の地域住民の生活環境に影響を及ぼしている物件もあり、市民の生命・身体・財産の保護、生活環境の保全、空家の活用のための対応が求められています。

市では、空家対策として平成28年11月に「飛騨市空家対策等協議会」を立ち上げ、平成29年6月に「飛騨市空家等対策計画」、平成30年3月には「特定空家等の判断基準マニュアル」を策定しました。

これらを基に、区長等により空家の調査を行い、その後、市職員が聞き取り、外観調査を実施しています。

今後は、倒壊等の恐れがある特定空家等について、専門家による詳細調査を行い管理不全状態にある空家の解消を図ります。

3 事業概要

○ 特定空家等調査委託事業

倒壊等の恐れがある特定空家について、3件程度を目途に専門機関である民間の建築士へ調査を委託し、「特定空家等の判断基準マニュアル」に基づき、所有者の同意の上で立入調査を実施します。特定空家を認定することで、その所有者等に対し、必要な措置をとるよう求めていきます。

(款)	2 総務費	(項)	1 総務管理費	(目)	1 一般管理費
所 属	総務部総務課 TEL0577-73-7461				

新規 公用車のドライブレコーダー設置

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】	【主な使途】
500	一般財源 500	備品購入費 500

(現計予算 0)

2 事業背景・目的

車社会全盛の昨今、交通事故は依然として多く発生しており、岐阜県においても平成29年中に5,648件もの人身事故が発生しています。

市役所においても、日々の行政事務を行う上で職員が公用車を運転する機会が多くある中で、先般、出張先からの帰途に、自損事故により複数の同乗者が負傷する事故が発生しました。

このことを踏まえて、改めて全職員に対して安全運転について注意喚起することは言うまでもありませんが、今後の事故発生リスクを低減させるためには目に見える形での対策も必要です。

このため、万一の事故発生時の状況を録画するだけでなく、運転者に対する速度警告、車線はみ出し警告、衝突防止警告等の安全運転支援機能を備えたドライブレコーダーを一部公用車に設置し、職員に公用車を運転する責任感と緊張感を持たせ、さらに交通事故の抑制を図ります。

3 事業概要

職員が共用使用する公用車のうち、ETCが搭載され長距離出張に利用が見込まれる車両11台にドライブレコーダーを設置します。

(内訳)

本庁6台、河合・宮川振興事務所各1台、神岡振興事務所3台



(款) 2 総務費	(項) 1 総務管理費	(目) 5 財産管理費
所属	総務部管財課 TEL0577-73-3741	

拡充 ふるさと納税専門サイトの新規導入

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】	【主な使途】
25,000	寄付金 25,000	積立金 14,020
		報償費 (返礼品) 7,500
		その他 (送料等) 3,480
(現計予算 201,797)		

2 事業背景・目的

飛騨市のふるさと納税寄付額は、平成29年度で約3億5千万円となり平成28年度を約5千万円上回りました。

自治体間の競争が激化する中、これからも多くの方に飛騨市へ寄付をしてもらえるよう、新たな専門サイトを新規導入し、市の魅力的な特産品を全国に発信するとともに、新しい商品の発掘とラインナップの充実に努めていきます。

3 事業概要

従来までの「ふるさとチョイス」「楽天」「ANA」「さとふる」に加え、新たな専門サイトとして「ふるなび」を新規導入します。

この専門サイトには、「ふるなびプレミアム」という高額所得者限定のサービスもあり、飛騨市の魅力的な特産品を効果的に発信することで、ふるさと納税のリピート利用へつなげ、更には返礼品発送時にファンクラブチラシや旬の観光情報を同封するなど、一過性で終わらないよう取り組みを行い、さらなる納税寄付額の増額を目指します。

導入予定時期：平成30年秋頃



(款)	2 総務費	(項)	1 総務管理費	(目)	1 一般管理費
所 属	企画部地域振興課 TEL0577-62-8904				

新規 首都圏でのレールマウンテンバイク魅力発信

1 事業費 (単位: 千円)	【財源内訳】		【主な使途】	
700	一般財源	700	負担金	700

(現計予算 0)

2 事業背景・目的

平成29年4月、全国に存在する廃線（ロストライン）を利活用し、地域の活力を生み出すネットワークの構築を目的とした日本ロストライン協議会が、全国から15団体が集まり発足しました。飛騨市からは、発起人であるNPO法人神岡・町づくりネットワークが加盟しています。

この協議会では毎年各地で総会を開催することとしており、本年は東京駅を中心にJRが主催する「東京鉄道祭」にあわせて東京で開催し、各地域で利活用される鉄道によるロストライン・ツーリズムを広く発信します。

飛騨市では、この東京鉄道祭に日本ロストライン協議会と共同でブース出展し、飛騨市の認知度の向上と、今後の誘客促進を図ります。

3 事業概要

「東京鉄道祭」の一つのイベントとして、東京駅付近のKITTE前地下広場にてレールマウンテンバイク体験乗車会を実施し、他に類を見ない体験アクティビティを紹介することで、今年オープンした渓谷コースも含めたレールマウンテンバイクの魅力を広く発信します。

また、同会場ではロストライン協議会会員団体のPRブースのほか、飛騨市の観光PRブースを設置し、観光誘客の推進、飛騨市ファンの獲得を目指します。

東京鉄道祭 10月13日（土）～14日（日）開催予定

(款)	2 総務費	(項)	1 総務管理費	(目)	12 鉄道対策費
所 属	企画部地域振興課 TEL0577-62-8904				

拡充 障がい者支援事業所の設置促進

1 事業費（単位：千円）	【財源内訳】		【主な使途】	
4,400	一般財源	4,400	補助金	4,400

（現計予算 6,100 ）

2 事業背景・目的

飛騨市内には、障がい者の生活能力の向上のために必要な訓練と社会との交流の促進、その他必要な支援を行うサービス（デイサービス）や、一般企業に就労するのが困難な障がい者に就労の機会や居場所を提供し就労支援をするサービス（就労継続支援）の数が少なく、また、居住地によっては、その通所にかかる時間や交通手段の制約で希望するサービスが受けづらくなっている現状があります。

平成30年度当初予算において、市内における多様な障がい者支援事業所の参入を促進して、サービスの確保を図り、安定した障がい者の支援事業を整備しましたが、今回、追加の参入計画があがったことから、これを積極的に支援し、参入の促進を図ります。

3 事業概要

市内に事業所を設置する事業者に対し初期費用に対する助成措置を行います。

① 就労移行支援事業（社会福祉法人吉城福祉会）

- ・ 事業所用地借上げ助成
 用地の年間借上料の2分の1以内の額（開設後3年間、上限 年600千円）
- ・ 施設改修費助成
 施設の開設時改修費用の2分の1以内の額（上限 2,500千円）

② 就労継続支援B型事業（特定非営利活動法人はたらくねっと）

- ・ 施設送迎車購入助成
 車両取得価格の2分の1以内の額、（1台限り、上限2,000千円）



(款) 3 民生費	(項) 1 社会福祉費	(目) 1 社会福祉総務費
所 属	市民福祉部障がい福祉課 ☎0577-73-7483	

新規 民間による「みんなの居場所づくり」の支援

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】		【主な使途】	
200	県補助金	100	補助金	200
	一般財源	100	(運営経費支援)	

(現計予算 0)

2 事業背景・目的

個の時代といわれる昨今、飛騨市においても地域コミュニティの場や地域商店の減少、少子高齢化などの影響を受け、市民の日常生活に支障が生じている地域があります。

一方で、市内では、市民自らが個人を尊重しつつも様々な年齢に対応した集える場を作り活動されることが多くなってきました。

市では、これらの活動が広がりを見せ、地域住民の憩いの場、手助けの場、助け合いの場、ボランティア活動の場など、市民がそれぞれの目的によって集える場を創設し運営する市民団体、法人、個人を応援し、多くの市民が住みなれた地域であんきで生きがいのもてる生活が継続できるよう支援します。

3 事業概要

○ みんなの居場所づくり支援事業補助金

高齢者等の生きがいづくり・生活支援・健康支援に活用でき、市民が集えるサロン事業や、「子ども食堂」のような子供を中心とした食事や学習、遊びの場を提供する事業など、全ての市民があんきに集える「みんなの居場所」の創設・運営に対する支援を行います。

【運営経費支援】

- ① 事業を適切に実施するための経費 補助率 1/2 上限：50 千円
- ② 経費の算出が困難な事業 利用者 1 人につき 100 円/回
- ③ ②の事業で食事の提供がある場合 利用者 1 人につき 300 円/回

【施設整備支援】

- ④ 施設の改修や購入 補助率 1/2 上限：1,000 千円
(空き家、空き店舗等の事業用への改修費含む)
- ⑤ 備品等の購入 補助率 1/2 上限：200 千円

※今回、施設整備支援は、制度の創設のみで予算計上をしていません。



(款)	3 民生費	(項)	1 社会福祉費	(目)	1 社会福祉総務費
所 属	市民福祉部地域包括ケア課 TEL0577-73-6233				

新規 松ヶ丘公園斎場の改修

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】	【主な使途】
45,676	過疎債	26,800 工事請負費
	一般財源	18,876

(現計予算 0)

2 事業背景・目的

松ヶ丘公園斎場は、昭和45年4月に供用開始し毎年修繕を行いながら使用してきましたが、施設の老朽化により火葬棟には大きな破損やクラックが見られるため、今回、大規模な改修を行うこととし、その詳細設計が完了したことから工事に着手します。あわせて待合室をバリアフリー化し、どなたでも安心してご利用いただける施設に整備します。

3 事業概要

① 松ヶ丘公園斎場火葬棟の改修 (18,795千円)

老朽化対策 (屋根防水・煙突修繕等)

② 松ヶ丘公園斎場待合室棟の改築 (26,881千円)

老朽化対策・バリアフリー化



松ヶ丘公園斎場火葬棟



松ヶ丘公園斎場待合室棟

※予定工期 火葬棟の改修・待合室棟の新築については、12月完成を目途とし、施設の利用制限に極力配慮した工程とします。なお、現在の待合室棟は、3月までに解体を実施します。

(款) 4 衛生費	(項) 1 保健衛生費	(目) 8 衛生関係施設費
所 属	環境水道部環境課 TEL0577-73-7482	

新規 宮川の地域資源を活用した里山体験事業

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】	【主な使途】
4,441	国庫委託金	4,441
		委託料 4,136
		印刷製本費 108
		旅費 197
(現計予算 0)		

2 事業背景・目的

飛騨市宮川町は高齢化や現役世代の流出により過疎化が激しい地域であり、コミュニティの維持が困難になってきています。特に杉原地区は、日本の田舎景色と生活が脈々と受け継がれ貴重な資源を残している全国でも稀有な地域ですが、過疎化は深刻な状況です。

一方、最近では宮川鮎の知名度が上がり、多くの釣り客が訪れるようになりました。しかし、宿泊施設不足により夏の時期は特に釣り客の宿泊要望に対応できておらず、受入施設を含めた供給量の増加が課題となっています。

そこで、宮川町の地域住民の持つスキルや労働力、住宅等、様々な資源を有効に活用し、宿泊施設不足などの地域課題に対応するようなモデル事業を実施し、宮川町の地域住民が自ら儲けられる仕組みづくりを目指します。

なお、この事業は、国の実証実験モデル地域として全国15箇所のうちの1つ（県内では当市のみ）に選ばれたことから、国からの委託により実施するものです。

3 事業概要

① 地域住民の有するスキルや遊休不動産活用の検証

宮川町杉原地区を中心に、地域住民が有する農林漁業等のスキルを活用した里山生活体験や、空き家・空き部屋を活用したホームステイ等の検証を行います。

② 中間支援組織の開設支援

地域との関係性が深い中間支援組織を設置し、サービス提供者の募集や育成、集客と受入までトータルでサポートすることにより、地域住民の負担軽減を図るとともに、外から人々が集まる仕組みと体制を整備します。

(款)	7 商工費	(項)	1 商工費	(目)	3 観光費
所 属	商工観光部観光課 TEL0577-73-7463				